

2009 年度年次大会 会長報告

2010 年 4 月 25 日(日)

於: 香港大学專業進修学院

会長挨拶

香港日本語教育研究会会長
梁 安玉

皆様

本日は貴重な休日のお時間をお割きくださり、NPO 法人「非営利団体」である日本語教育研究会第二回総会にご出席いただきまして、心から御礼を申し上げます。

2009 年度最大の行事の一つは、NPO 法人「非営利団体」となった研究会が香港政府の規定に則った本研究会の会則第五十三条の規定に従って、初めての選挙を行い、会員の投票によって 2009 年度の 11 名の理事が選出されたことです。それに、研究会の業務を速やかに運営するために、会員の皆様のご協力してくださり、各委員会の委員になっていただきましたお蔭で、2009 年の研究会の業務が順調に運ばれましたこと、心より感謝いたしております。

2009 年度のいま一つ重要な出来事は、3 月「国際交流基金日本語教育ネットワーク」、現在の「JF 日本語ネットワーク(通称サクラネットワーク)」に加入、同月 21 日及び 22 日サクラネットワークプロジェクトの一環として、日本から二名の専門家をお招きし、日本語教育における理論及教授法講演及びワークショップを主催いたしました。おかげさまで二日間で延べ 160 名が参加という盛会のうちに終わりました。

ご存知のように、日本語教育研究会は、1978 年に香港地区における日本語教育関係者間の親睦・情報交換・交流を目的として創立されて以来、マカオをはじめ、華南地区の日本語教育・日本研究の教育関係者・研究者の方々と の学術・教育交流を進めてまいりました。現在、「日本語教育グローバルネットワーク」の一員として、日本、中国、韓国、台湾、アメリカ合衆国、オーストラリア、欧州、カナダの各国の日本語教育の専門家や研究者の方々との交流に努めております。これによって、世界各地域との双方の学術及び教育交流、そして、世界的な視野を持つ香港日本語教育の更なる普及と振興に貢献できましたら幸いです。

最後になりましたが、この場をお借りしまして、あらためて在香港日本国総領事館、国際交流基金、そして会員の皆様方の暖かいご支援、ご協力に心より御礼を申し上げます。

今後とも、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、2009 年度の本会の活動報告をまとめました。

2009年度 活動報告(2009年1月1日～12月31日)

- 3月8日、研究会の第一回総会が行われました。
 - ◎ 香港日本語教育研究会は2007年9月NPO法人非営利団体になりました。2009年3月の選挙によって、初の11名の理事が選出されました。
- 3月21日及び22日、日本語教育における理論及び教授法講演及びワークショップを主催しました。協賛団体は国際交流基金でした。下記のテーマで、2名の講師による講演を行いました。
 - 講演会
 - ①『子どもたちへの日本語教育—内容重視の日本語教育の理論と実際—』
齋藤 ひろみ先生(東京学芸大学)
 - ②『日本語教育における理論と教授法—今教師に求められる発想の転換—』
小山 悟先生(九州大学)
 - ワークショップ
 - ①『子どもたちへの日本語教育—テーマで学ぶ・活動を通して学ぶ—』
齋藤 ひろみ先生(東京学芸大学)
 - ②『第二言語習得の研究成果を生かした課題遂行型日本語授業の実例』
小山 悟先生(九州大学)
- 4月25日、第5回香港中高生日本語スピーチコンテストを開催しました。
 - ◎ 2008年に引き続き香港大学との共催で、香港大学の黄麗松講堂で行いました。
 - ◎ 出場者数:朗読の部15名(より多くの年少者が参加できるように、本年度はじめてこの朗読の部を設けました)、スピーチの部11名。
- 7月5日、2009年第1回日本語能力試験(1、2級)を実施しました。
- 8月22日、小中等学校の香港人日本語教師によるフォーラムを主催しました。
- 10月上旬、国際交流基金の委託による2009年香港日本語教育機関調査を実施しました。
- 11月、研究会の会員を対象とし、事務所購入について調査票を郵送し、アンケート調査を行いました。
- 11月～12月、「2009年香港高校日本語教育実況」アンケート調査を行いました。
- 12月6日、2009年第2回日本語能力試験(1～4級)を実施しました。国際交流基金の依頼を受け、香港地域において2009年度日本語能力試験を年に2回実施しました。合計の受験応募者数が2万637人であり、過去最高の受験者数を連続5年更新中です。
- 12月12日、2010年度理事選挙準備委員会を設置しました。
 - 【理事会】3月の第一回総会の後、毎月定例理事会を開き、そこで理事による審議・討論を経て、会の運営等についての決定をしています。年末までに、計9回の会議を行われました。
 - 【月例会】月例会は従来どおり、毎月第2土曜日(2時～4時)に香港日本語教育研究会事務所のホールで行っています。講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で行い、参加者は毎回平均35名前後と盛況でした。
 - 【研究会の諸活動】
 1. 日本語教師研修の実施。現在第10期の研修が行われています。研修生は11名
 2. 8月22日、小中等学校の香港人日本語教師によるフォーラムを主催しました。

2008 年度年次大会 会長挨拶

2009 年 3 月 8 日(日曜日)

於: 香港大学專業進修学院

2008 年度 活動報告(2008 年 1 月 1 日～2008 年 12 月 31 日)

香港日本語教育研究会会長(代理)

梁 安玉(副会長)

佐藤大使、中原部長、金先生、会員の皆様、

本日、春寒料峭の中で、貴重な休日のお時間をお割きくださり、NPO 法人「非営利団体」である日本語教育研究会第一回の総会にご出席いただきまして、心から御礼を申し上げます。

さて、本日、会長の宮副先生、本務の大学のお仕事がございますので、総会には出席できないため、私、梁安玉が会長報告を代読させていただきます。よろしく願いいたします。

- 2008 年 1 月 4 日に「30 周年座談会」を行いました。
一歴代の会長(名誉会長)と新幹事に集まっていたいただき、研究会が歩んだ 30 年の歴史を振り返り、現状を語り、今後の健全な発展について語っていただきました。
- 3 月に「国際交流基金日本語教育ネットワーク」今現在の「JF にほんごネットワーク(通称サクラネットワーク)」に加入しました。
- 3 月下旬、国際交流基金の依頼を受け、香港地域の 2008 年日本語能力試験新 2 級模擬試験を実施しました。
- 3 月下旬、香港中学校日本語教育実況アンケート調査を実施しました。
3 月中旬に香港の中学校(500 校)を対象とし、日本語教育の状況などについて調査票を郵送し、アンケート調査を行いました。
- 4 月 13 日、香港中高生日本語スピーチコンテストを開催しました。
◎ 去年に引き続き香港大学との共催で、香港大学の黄麗松講堂で行いました。発表者のスピーチの内容は豊かで説得力があり、会場には大勢の観衆が詰め掛け、大盛況でした。
- 5 月、湾仔にあった研究会事務所は、西湾河に移転しました。
- 5 月 17 日、2009 年度理事選挙準備委員会を設置しました。
- 6 月 21 日、香港日本語教育研究会 30 周年記念式典を開催しました。
会場: セントラル・アメリカ銀行ビル 2 階、香港中文大学校外進修学院

講師:清 ルミ教授(常葉学園大学外国語学部)

講演:『求められる日本語教師の気づき—教師意識と教授内容について』

- 6月、『日本学刊』12号の発行
「30周年記念号」として作成・編集を行い、関係諸機関に配布しました。
香港日本語教育研究会30周年記念式典(2008年6月21日開催)にて、会員に配布しました。
- 11月に香港大学と第8回国際日本語教育・日本研究シンポジウムを共催しました。
- 2008年12月実施の日本語能力試験の申込者数が1万7千人を上回りました。過去最高の受験者数を連続4年更新中です。

【理事会】香港日本語教育研究会は2007年9月NPO法人「非営利団体」になり、その後は、毎月定例理事会を開き、そこで理事による審議・討論を経て、会の運営等についての決定をしています。

【月例会】月例会は従来どおり、毎月第2土曜日(2時~4時)に、香港日本語教育研究会事務所のホールで行っています。講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で行い、参加者は毎回平均35名前後と盛況でした。

【研究会の諸活動】

1. 教科書《いきいき日本語》の開発・作成と出版。
2. 日本語コースを実施しているまたは実施しようとしている中小学校における日本語教育への支援。
3. 日本語教師研修の実施。現在第9期の研修が行われています。研修生は10名。

以上は2008年度の研究会の活動報告です。

最後になりましたが、この場をお借りしまして、あらためて在香港日本国総領事館、国際交流基金、そして会員の皆様方の暖かいご支援、ご協力に心より御礼を申し上げます。

今後とも、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。